

令和7年度船橋在宅医療ひまわりネットワーク 基礎研修（難病編）

船橋在宅医療ひまわりネットワークでは、地域の医療・介護関係者が連携の知識を習得し、連携をマネジメントできるよう、医療介護に関わる仲間のすそを広げられるよう、連携に必要な基礎的な疾患等の知識を習得し、多職種（及び多機関）によりチームアプローチや病院・在宅の連携方法等の基本を学ぶことを目的としています。今回は主な神経難病の基礎知識や支援について学びます。

令和7年

開催方法

ハイブリット開催

※ Web参加は、Zoomミーティング使用

10月4日(土)

対面会場

船橋市役所602会議室

14:00~16:30

対象

ひまわりネットワーク会員
市内の医療・介護関係者

参加費

無料

定員

対面参加：20名

Web参加：80名

※いずれも先着

※ この研修は「ひまわりポイント」
の対象です。

1 オリエンテーション

「船橋在宅医療ひまわりネットワークの取り組み」

2 基調講演



「主な神経難病の基礎知識と支援について」

講師：山中^{やまなか} 義崇^{よしたか} 医師

千葉大学医学部附属病院 患者支援部 部長・特任教授
浦安リハビリテーション教育センター 副センター長

3 質疑応答

申込方法については裏面をご覧ください→



船橋在宅医療
ひまわりネットワーク

申込期日

令和7年9月26日(金)



申込方法

次のいずれかの方法により、お申込みください。

1. URLあるいは2次元コード

【URL】 <https://forms.gle/1RJ74Z5BFdZnm8X28>

2. メール(下記の問合わせ先)

申込み事項:①「10/4基礎研修難病編申込み」、②お名前(フリガナ)、
③勤務先・所属、④職種、⑤当日連絡のとれる電話番号、
⑥メールアドレス、⑦講師への事前質問(任意)

お問合わせ先

船橋在宅医療ひまわりネットワーク事務局

(船橋市 地域包括ケア推進課内)

[TEL] 047-436-2558 [FAX] 047-436-1005

[E-mail] hokatsu-care@city.funabashi.lg.jp

人材育成委員会の活動について

船橋在宅医療ひまわりネットワーク人材育成委員会では、医療
及び介護専門職等が連携を図る上で必要な知識を習得する機
会を以下の研修スキームに沿って設けています。

研修会参加者にひまわりポイントを付与し、ポイントを
貯めた方をひまわりマイスターとして認定します。



【在宅医療・介護連携における人材育成の研修体系】

R7在宅医療・介護連携における人材育成の研修体系(暫定版)

【目的】 多職種(及び多機関)による連携により、本人のその人らしさを支える支援を行う

【目標】 本人が満足できる連携の知識を習得し、
連携をマネジメント出来る！

すそのが広がる！

○疾患別の特徴等に応じた基礎的な知識(※1)、在宅医療と介護連携のイメージを想定した応用的な知識(※2)を通じて、多職種(及び多機関)連携の必要性を学び、活かす。

○「対話」を通じて、本人の尊厳を守る(本人の選択・決定)支援をどのように行うのか学び、活かす。

○医療・介護関係者が本人の尊厳を意識した多職種協働による一体的な連携(アプローチ)方法を学び、活かす。

○多くの医療・介護関係者が、多職種(及び多機関)の協働・連携に関する研修に参加する。

○医療・介護の職種によりそれぞれ視点があることや、個々の価値観や文化も様々であることを学び、活かす。

○顔の見える関係、仲間づくりを行える。

【研修体系スキーム】

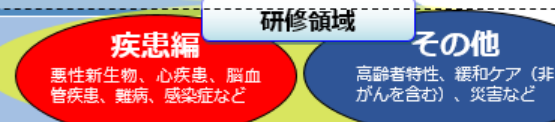
※2【ひまわり連携応用研修】

- ・在宅医療と介護連携のイメージを想定した応用的な知識を習得する。
- ・多職種(及び多機関)によるチームアプローチや病院・在宅の連携方法等を実践的に学ぶ。

研修領域は定めず、医療と介護が主に共通する4つの場面
「日常の療養支援」「急変時の対応」「入退院支援」「看取り」等の実
際の場面を想定した研修。

※1【ひまわり連携基礎研修】

- ・疾患別の特徴等に応じた基礎的な知識を習得する。
- ・多職種(及び多機関)によるチームアプローチや病院・在宅の連携方法等の基本を学ぶ。



各研修の修了時に、ポイントを取得

ひまわりマイスター認定
検討中

各団体においては、各職能別・施設ごとに必要な基礎知識を習得できる研修会を実施するとともに、
ひまわり研修への参加の働きかけを行う。

【ひまわりネットワークの目指す多職種連携とは】

準備中



船橋在宅医療
ひまわりネットワーク